

たぐみ

T A K U M I

No.009

平成13年1月●新春号

信州名匠会

(題字：故 池田三四郎 前名誉会長)

「スリースター制度」3ツ星認定者3名誕生 平成12年度総会開催



3ツ星認定者を代表して坂田守夫氏が藤森照信会長から認定証を受け取った



あいさつする信州名匠会顧問
馬場璋造氏(建築情報システム研究所主宰)



総会の冒頭、宮本忠長副会長からのあいさつ

平成12年6月28日、長野市・メルパルクNAGANOにおいて、信州名匠会通常総会が開催された。当日会場には、4月の定例研修会で参加者が制作した陶芸作品を展示。総会では、本年度事業報告と会計・監査報告、平成12年度事業計画・事業予算の決定、スリースター認定者の認定証授受(P.3参照)を行った。続く講演会では、藤森照信会長が希少な壁土「聚落土」とこけらなどの「屋根材」、建材としての「栗材」について語った(P.2に詳述)。

翌29日には、長野カントリーゴルフで親睦ゴルフ大会を開催。晴天の下、真剣に腕を競いながら、会員相互で和やかな談笑のひとときを楽しんだ。



6月29日に開催した親睦ゴルフ大会で腕を競いあった会員たち。
前列左から西澤嘉雄、坂田守夫、田澤良夫、西宮登喜男、五明良平、
後列左から岸本貴志、溝端利一、松澤勝司、竹内公夫、左右田昭道、
山田一忠の各氏

●親睦ゴルフ大会順位報告(敬称略)

- 優勝 坂田守夫/坂田工業(株)
- 1位 松澤勝司/(株)日本屋陶器瓦協業組合
- 2位 田澤良夫/(有)田澤工務店
- 3位 五明良平/(株)五明
- NP 山田一忠/インテリア販売ヤマダ
- 左右田昭道/(株)インテック左右田
- 西宮登喜男/(有)綿内瓦工業
- 西澤嘉雄/(株)宮本忠長建築設計事務所

平成12年度通常総会 記念講演会

専門業者も本物を知らない、 幻の壁土「聚落土」



信州名匠会 藤森照信 会長 (東京大学教授)

平成12年度通常総会当日に開催された記念講演会は、藤森照信会長による「聚落土」と「こけら葺き」、「栗材」について。以下、「幻の土」と呼ばれるごく希少な壁土「聚落土」についての談話を紹介する。

●新聚落、聚落風……どれが本物？

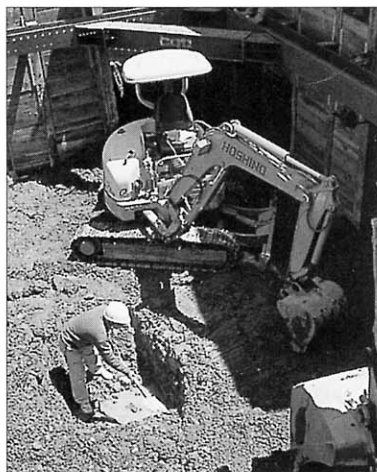
壁土の最高級品といわれる聚落土だが、伝統技術を受け継ぐ東京の工務店で尋ねたところ、本物の聚落土を扱ったことはないという。現在では一般に、梨地の土壁仕上を聚落壁と呼んでおり、新聚落、聚落風などまで登場し混乱しているが、本物は豊臣秀吉がつくった京都の聚楽第跡から採取された土を使用したものだけである。かつては聚落土を扱う土屋数十軒が土屋町を形成していたが、聚楽第跡地に住宅や店舗が建ち並んだ結果、土が採れなくなり、土屋は次々に廃業。現在、本物の聚落土を扱う建材店は1軒だけとなった。



京都に1軒だけ残る、聚落土を扱う店を訪ねた藤森会長

●建設現場を探し歩き、ようやく得られる土

聚落土を扱う建材店の主は、聚落土が採れる一帯をこまめに歩き、建物の新築工事の現場を見つけると、責任者につけあって基礎を打つ前に土を採取させてもらっている。聚落土は地下2mのところから1mほどの層をなしており、普通の住宅の建設工事では掘る深さが足りない。高層ビルの建設現場が好ましい。そのような工事現場にうまく出会えないと、土の在庫維持も困難になる。在庫がわずかなため、京都以外に出荷することはないという。



聚楽第跡地で改築工事などに巡りあい、承諾が得られたときのみ採取できる聚落土

●粘り強く、抜群の耐久性をもつ壁材

採取した土を乾燥させ、臼で砕いて粉末状にし、不純物をふるい落とすと聚落土ができる。この土に細かな砂と藁すさを混ぜて水で練り、コテで塗ったものが聚落壁。希少な土は、もともと聚落土を使用していた茶室の修理などに限定して提供しており、出荷できる量は年に茶室3軒分ほどが限界。また千家

十職のひとつ、楽家の楽焼きにも聚落土が使用されている。

聚落土に次ぐ格をもつ大阪土は、粘性に限っては聚落土より優れているが、腰が弱く、10年ほどで崩れてしまう。一方聚落土は、粘りに加えて耐久性も高い。色はさほど良くなく、長もちすること以外に大きな特長はないが、細々と命をつなぐ自然素材を使った建築文化のひとつとして貴重であり、後世に伝えたいものである。



京都市左京区にある数寄屋造りの菓子店。外壁が聚落仕上げ

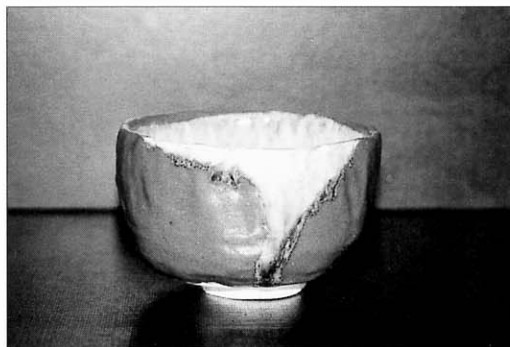
■3ツ星認定者3名誕生

—スリースター認定者紹介—

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力を互いに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設したもの。研修会へ1回出席するごとに1単位を加算し、10単位で星1つを与える。発足から1年を経て、3ツ星認定者が3名誕生し、通常総会において認定証を授与された。また4名が2ツ星、25名が1ツ星の認定を受け、3ツ星への階段を一步上った。貴重な研鑽の場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加にますます期待が高まる。

●スリースター会員名刺の制作承ります

信州名匠会事務局では、スリースター認定者であることを記したオリジナルデザインの名刺の制作を受け付けている。初回の100枚は会からの無料支給とし、以降100枚ごと3800円（予定）にて注文に応じる。問合せ・注文は事務局へ（P.6おくづけ参照）。



平成12年度 信州名匠会 年間スケジュール

平成12年

- 6月28日(水) 総会
- 6月29日(木) 親睦ゴルフ大会（長野カントリー）
3組予定
- 7月26日(水) 上越市小林古径邸見学会
- 8月23日(水) 研修会「アルミキャストについて」
- 9月20日(水) 講演会
- 10月25日(水) 研修会「建材について」
- 11月11日-12日(土・日) 研修旅行
- 12月20日(水) 研修会「防水工事について」

◆認定者名簿（平成12年6月28日現在、五十音順）

- <3ツ星>
 - 額原澄子 / (株)宮本忠長建築設計事務所
 - 坂田守夫 / 坂田工業(株)
 - 西澤嘉雄 / (株)宮本忠長建築設計事務所（以上3名）
- <2ツ星>
 - 岡澤元彰 / (株)本久
 - 五明良平 / (株)五明
 - 竹内美樹 / (株)新建新聞社
 - 水沢仁亮 / (株)二見屋（以上4名）
- <1ツ星>
 - 井内八雄 / (株)井内工務店
 - 池内信二 / (株)山翠舎
 - 伊藤章 / (有)アキ・プランニング
 - 岩井英一 / 岩井工業(株)
 - 大庭修 / トライアン(株)
 - 久保敏幸 / (株)さつき苑
 - 倉橋英太郎 / (株)倉橋英太郎建築設計事務所
 - 島田安雄 / 島田工務店
 - 鈴木隆 / ルームデザインハウス
 - 関克弘 / 坂田工業(株)
 - 関野和人 / (有)アーキクラフト
 - 左右田昭道 / (株)インテック左右田
 - 高梨廣男 / (有)高梨建設
 - 高波和由 / (株)キャストック
 - 竹内公夫 / (株)ダスキインターミニックスビホーム
 - 中村光敬 / (有)中村木工所
 - 西宮登喜男 / (有)綿内瓦工業
 - 堀誠 / 堀建築設計事務所
 - 溝端利一 / MEデザイン室
 - 宮川裕行 / ミツ友建築企画
 - 宮澤郁夫 / 宮澤建築
 - 宮下恒夫 / サンコー特機(株)
 - 宮本忠長 / (株)宮本忠長建築設計事務所
 - 山崎邦男 / 山崎工務店
 - 渡辺昌祺 / 渡辺硝子建材(株)（以上25名）

●研修会で制作の陶芸作品を展示

通常総会会場では、4月29日の定例研修会で会員が制作した陶芸作品を展示し、出席者が思い思いに鑑賞を楽しんだ。写真は会長賞を受賞した宮澤郁夫氏の作品。

平成13年

- 1月24日(水) 新年会
- 2月21日(水) 研修会「家具工事について」
- 3月21日(水) 研修会「木製建具について」
- 4月28日(土) 研修会「陶芸について」
- 5月23日(水) 研修会「建築設備工事について」
- 6月27日(水) 平成13年度総会
- * 研修会 場所: (株)宮本忠長建築設計事務所・緑艸舎
時間: 午後6:30～午後8:30
- * 研修会内容・場所・日時については変更もあります。

吉岡文庫育英会より研究補助金20万円

定例総会の席上、新建築社・吉田義男会長（名匠会顧問）より、(財)吉岡文庫育英会の研究補助金として、前回の30万円に続き20万円が信州名匠会に給付されました。名匠会では育英会と補助金の趣旨が未永く反映されるような活用方法を検討しております。心より感謝申し上げます。

平成11年度 信州名匠会 事業報告

平成11年

6月24日(木) 総会 参加者41名

6月25日(金) 親睦ゴルフ大会（長野カントリー）

7月21日(水) 上越市 小林古径邸現場見学 参加者34名
(株)宮本忠長建築設計事務所 西澤嘉雄氏

8月25日(水) ガラス工事について 参加者20名
セントラル硝子(株) 窪田真治氏・鈴木満氏

9月22日(水) 木造住宅用高気密高断熱工法・建築物の外断熱工法について 参加者21名
江本工業(株) 浜田康司氏・高野俊郎氏

10月27日(水) 県産木材について 参加者20名
長野県県産材進行協議会 諸中章氏
県林務部林業課木材流通係 榎秋隆哉氏

11月13～14日(土・日) 研修旅行 「富山県の建築見学」
(瑞龍寺他) 参加者29名

12月22日(水) 光と健康と環境について 参加者19名
松下電工エンジニアリング 横田健治氏

平成12年

1月 たくみ No.007発行

1月26日(水) 新年会 参加者34名

2月23日(水) 左官工事について 参加者18名
島田工務店 島田安雄氏

3月22日(水) 木製サッシュについて 参加者17名
(株)ノルド 石川章氏・中野勝弘氏

4月29日(土) 陶芸について 参加者22名
雪しろ窯 村越久子氏

5月24日(水) 建築金物について 参加者22名
(株)日本ロックサービス 丸山雄二氏

6月 たくみ No.008発行

定例研修会Report ● 平成12年5月～平成12年10月

毎月1回開催する定例研修会。スリースター制度発足の効果もあり、会にはより多くの会員が参加して、活発な質疑や意見交換が行われている。以下にその要旨を紹介する。

【建築金物】

平成12年5月24日

講師：(株)日本ロックサービス 丸山雄二氏

参加者22名

高度化する鍵システム。 特性を生かした導入を

国内シェア80%を占めるミワロックでは、従来より防犯性の高いURシリンダー錠への移行が進み、鍵開け犯罪の防止に大きく貢献してきた。またより複雑・大規模化する建物のキープランに対応する鍵違いに応える工夫、アパート経営向けに鍵の付け替え更新がしやすいカード式も考案されている。ただしマスターキーについては、管理する鍵数が少ない場合など、防犯機能が落ちるので付けない方がよいときもある。

高齢者・障害者向けの鍵システムには、差し込む方向を問わないリバーシブルキーなどがあるが、痴呆老人の徘徊を防ぎつつ、火災時などに避難経路をいかに確保するかなど、今後への課題は多い。

【小林古徑邸見学】

平成12年8月26日

案内：(株)宮本忠長建築設計事務所

宮本忠長氏・西澤嘉雄氏

参加者37名

細部まで完璧な細工と工夫。 職人の魂が宿る建築

上越市・高田城址公園で復元工事が進む、上越市出身の日本画家・小林古徑の旧家（吉田五十八設計、岡村仁三施工。昭和9年、東京都）を訪ねた。木造2階建の住宅は、吉田流といわれる「近代数寄屋」の初期作品として高く評価されていた。柱と貫の接合を強化する「貫ボルト工法」などの技術や、建具など細部に至るまで狂いのない精度の高さに、参加者は感嘆の声をあげた。案内を担当した西澤嘉雄氏は「完全



上越市・高田城址公園内で復元が進む小林古徑邸。完成は平成13年4月の予定

【アルミキャスト】

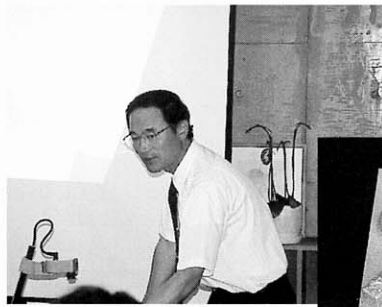
平成12年7月25日

講師：アズザック(株) 高波和由氏

参加者27名

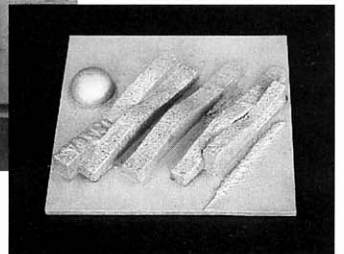
大面積に有効な鑄造技術。 プレート制作で楽しく学ぶ

「Vプロセス」は、従来より面積の大きい鑄物ができ、ガスによる鑄造欠陥がほとんど生じないこと、表面が滑らかで模様の再現性が高いことなどが特長の鑄造技術。砂を圧縮した鑄型を使うため、アルミニウムを抜くのが簡単という利点もある。用途は柱カバーや手すりの支柱、窓格子のほかレリーフやモニュメントなどの芸術作品も。住宅では、手すりや表札、ドア引き手への使用が考えられる。研修会では、VTRでVプロセスの工程が紹介され、また将来的なアルミニウムの活用方法について議論が交わされた。最後に、アルミキャストによるプレート制作



VTRを使い、Vプロセスを詳しく説明する高波氏／上
アルミキャストによる作品（西澤嘉雄）／右

が行われ、参加者はそれぞれに個性豊かな作品を作った。



に解体しても他の場所でまた組み立てることができる」と解説、宮本忠長副会長は「当時の人が生活の場を大切にしていたことがわかる」と話した。なおこのたびの復元工事では、設計監理担当の(株)宮本忠長建築設計事務所により、屋根の中に融雪ヒーターを入れるなどの工夫が加えられている。



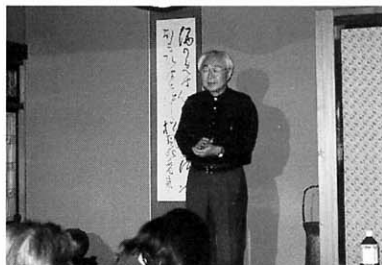
敷石上の10ミリほどの隙間から土台の上場・側面・下場に空気を送り、ムシや腐食を防ぐ

【NHK「達人たちの家」映写会】

平成12年9月25日

解説：(株)宮本忠長建築設計事務所所長 宮本忠長氏
参加者21名

自邸に色濃く反映される建築家たちの思想



VTRを上映しながら建築への思いを語る宮本副会長

現在活躍中の建築家5人の自邸を中心に、代表作を通じて各々の建築観を対談方式で聞いていくBS9ハイビジョン放送のシリーズ「達人たちの家」から、「宮本忠長編」「内藤

廣編」のVTRを見た。「宮本編」では、復元・再生を一步高め、新旧の共存を実現した「緑艸舎」をはじめ、上越市の小林古径邸（P.5参照）や「外はみんなのもの、内は自分のもの」という発想から生き生きとした魅力的な街並みを生み出した小布施の町並修景事業を紹介。また「内藤編」では、ローコストで造る可変空間、二世帯住宅の新しいあり方などを模索した内藤氏自邸や、「海の博物館」を紹介し、各作品に込められた思いや手法にふれた。

【建築仕上材】

平成12年10月25日

講師：アイカ工業(株) 上田哲哉氏・川口直隆氏
参加者20名

廃材を出さない改修・リフォーム用材

建物の老朽化や生活様式の変化に合わせたトイレや風呂場など水廻りの改修需要に応じて開発されたのが、メラミン樹脂化粧板「アイカセラルール」。その特長は、施工性や耐久・



自社開発の仕上材「アイカセラルール」について語る上田氏

耐火・耐水・防汚の性能、デザイン性の高さや、旧タイル面への接着性、目地の少ない大型寸法、明るく清潔感のある仕上がりが可能なことなど。しかしサウナや温泉、ユニットバスに使用した場合、防カビ効果は薄い。アイカセラルールの一種、リフォーム用材「セラルールオンタイル」は、古いタイルを剥がさずに新しい仕上がりができ、廃材処分量の減量が可能。しめくりに「より優れた材料の開発には、現場の声を積極的に取り入れることが大切」と話があった。

宮下恒夫氏が建築設備優良検査者表彰●全国から8名が受賞



宮下恒夫氏プロフィール
1939年（昭和14年）12月9日生まれ、61歳。サンコー特機株式会社代表取締役社長。趣味は釣りや農作業。柿や桃、リンゴ、キウイフルーツなどを栽培し、自宅はちょっとした果樹園となっている。長野市在住。
（取材：新建新聞社 堀内久美子記者）

名匠会会員の宮下恒夫氏（サンコー特機(株)）が平成12年6月、建築設備優良検査者として表彰された。この表彰は、建築設備の点検やメンテナンスの重要性が見直されたことに合わせて、平成11年から始まったもの。2回目の今回は、全国の建築住宅センターなどから推薦された8名が表彰を受けた。

宮下氏は建築設備検査資格者として24年間の実績をもち、平成4年には長野市定期報告優良者表彰を受けている。今回の表彰では、的確な検査の実績が評価された。

長野県における建築設備の検査率は地域によって差があり、長野市での検査の報告率が73.9%であるのに対し、県全体では35.1%と低い。宮下氏は「検査を各支部の取り組みに任せている部分があるのでどうしても差がでてくる。今後は全体的な報告率のアップを、行政と一緒に進めていきたい」と抱負を語る。「設備の点検やメンテナンスは、人の生命を守るという意味でひじょうに大切なもの。これまでの経験を生かし、技能者としてさらに努力していきたい」と話していた。

●信州名匠会新会員紹介（平成12年 12月6日現在）

職種★氏名★会社名★住所★TEL

- サッシ★大井芳也★(株)山二★長野市小島180★TEL026-223-4131
- 暖炉・サウナ★鳥羽英夫★長野市サウナ販売(株)★長野市篠ノ井会614★TEL026-292-4855
- 暖炉・サウナ★山本耕平★長野市サウナ販売(株)★長野市篠ノ井会614★TEL026-292-4855
- 監理★増田幸雄★匠建設(株)★長野市三輪6-6-2★TEL026-234-4161
- カーテン他★山田一忠★インテリア販売ヤマダ★長野市南堀26-23★TEL026-244-6109
- 総合建設業★坂戸雄世★(有)サカト産業★長野市稲里町中氷鉋930-1★TEL026-284-3326
- 桐箱製造業★山中袈裟嗣★山中桐箱店★長野市妻科336-1★TEL026-232-0369
- 瓦★松澤勝司★(株)日本屋陶器瓦協業組合★下伊那郡喬木村阿島★TEL0265-33-2150
- 測量★宮崎三雄★(有)アルファ測量★上水内郡豊野町大字豊野482-56★TEL026-257-6032